

第2次高梁市環境基本計画

概要版

いつまでも暮らしたい 自然 歴史 風情のあるまち高梁
～地域資源を守り育てる持続可能なまちづくり～



令和4年3月
高梁市

計画の基本的事項

計画策定の背景・目的

本市では、平成 24 年 3 月に制定した「高梁市環境基本条例」に基づき、平成 24 年 7 月に「高梁市環境基本計画」（以下、「第 1 次計画」という。）を策定し、良好な環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進してきました。

第 1 次計画の計画期間が令和 3 年度末をもって終了することから、本市が抱える環境課題を見つめ直し、環境を取り巻く社会情勢の変化、国や岡山県の環境政策の動向を踏まえて、新たに 10 年間で推進すべき環境施策を掲げる「第 2 次高梁市環境基本計画」（以下、「第 2 次計画」という。）を策定します。

計画の位置づけ

第 2 次計画は、「高梁市環境基本条例」に位置づけられた計画であり、本市の最上位計画である「高梁市総合計画」を、環境面から総合的かつ計画的に推進するための計画です。

また、上位計画となる国の第五次環境基本計画や岡山県環境基本計画（エコビジョン 2040）の内容を踏まえるとともに、本市の関連計画との整合を図りつつ、本市が推進する環境施策や、市民・事業者・市民団体の環境に配慮した取組に対して基本的な方向性を示す計画です。

計画の対象範囲

区分	環境の範囲	
脱炭素	<ul style="list-style-type: none">● 省エネルギー● 気候変動 等	<ul style="list-style-type: none">● 再生可能エネルギー
自然共生	<ul style="list-style-type: none">● 動植物● 山林・里山● 有害鳥獣● 自然とのふれあい 等	<ul style="list-style-type: none">● 外来生物● 農地● 水辺
資源循環	<ul style="list-style-type: none">● ごみの 3R	<ul style="list-style-type: none">● ごみの適正処理 等
安心・安全・快適	<ul style="list-style-type: none">● 大気汚染● 騒音・振動・悪臭● 有害化学物質汚染● 歴史・文化財● 公共交通	<ul style="list-style-type: none">● 水質汚濁● 土壌・地下水汚染● 景観● 公園・緑地● 空き家 等
市民協働	<ul style="list-style-type: none">● 環境学習・教育	<ul style="list-style-type: none">● 環境保全活動 等

計画の期間

第 2 次計画の計画期間は、令和 4 年度から令和 13 年度までの 10 年間とします。

ただし、今後の環境問題や環境を取り巻く社会情勢の変化等に的確に対応していくため、中間年度の令和 8 年度に数値目標をはじめとした計画の見直しを行います。

望ましい環境像と基本目標

望ましい環境像

望ましい環境像とは、本市がこれからどのような環境を目指して環境施策を推進していくかを示す長期的な目標であり、以下のとおり設定します。

**いつまでも暮らしたい 自然 歴史 風情のあるまち高梁
～地域資源を守り育てる持続可能なまちづくり～**

基本目標

基本目標 1【脱炭素】 地球にやさしい脱炭素のまちを創ります

地球温暖化の原因となっている温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする「脱炭素社会」の実現を目指し、徹底した省エネルギーの推進、地域特性を活かした再生可能エネルギーの最大限の導入、ライフスタイルの転換などに取り組むとともに、気候変動の影響による被害を回避・軽減していくことで、地球にやさしい脱炭素のまちを創ります。

基本目標 2【自然共生】 豊かな自然を継承し、 人と自然が共生するまちを創ります

多様な動植物、森林、河川、農地や、そこで育まれてきた生物多様性を地域一体となって保全していくことによって、次世代に市民共通のかけがえのない財産である豊かな自然を継承し、人と自然が共生するまちを創ります。

基本目標 3【資源循環】 ごみの少ない資源が循環するまちを創ります

これまで推進してきたごみの 3R や適正処理のさらなる加速化を図るとともに、食品ロス問題やプラスチックごみによる海洋汚染の問題など、社会的に関心が高まっている問題にも対応していくことで、ごみの少ない資源が循環するまちを創ります。

基本目標 4【安心・安全・快適】 安心・安全で快適な 生活が営める住みよいまちを創ります

大気汚染や水質汚濁などの公害の未然防止、地域特性を活かした美しい景観の形成、地域に根ざした伝統ある歴史・文化の継承などを推進することによって、市民誰もが安心・安全で快適な生活が営める住みよいまちを創ります。

基本目標 5【市民協働】 みんなが参画・協働し、持続可能なまちを創ります

本市の良好な環境を次世代に継承していくために、環境学習・教育を通じて市民一人ひとりの環境意識の醸成や環境保全活動のさらなる活性化を図っていくことによって、市・市民・事業者・市民団体など、みんなが参画・協働し、持続可能なまちを創ります。

環境施策

基本目標 1【脱炭素】 地球にやさしい脱炭素のまちを創ります



市の取組

基本施策 1 省エネルギーの推進

- 公共施設の省エネルギー化の推進
- 家庭・事業所の省エネルギー化の促進
- 脱炭素型ライフスタイル・ビジネススタイルの定着促進
- 次世代自動車の導入促進

基本施策 2 再生可能エネルギーの導入推進

- 地域特性を活かした再生可能エネルギーの導入推進



基本施策 3 気候変動への適応

- 気候変動適応策の推進
- 気候変動の影響に関する情報提供・注意喚起

市民・事業者の取組

冷暖房温度の適正管理やこまめな消灯など、省エネルギー行動を実践しましょう！



自動車を購入する際は、環境負荷の少ない次世代自動車を選択しましょう！



住宅や事業所に太陽光発電設備等の再生可能エネルギー設備の導入を検討しましょう！



数値目標

指標	基準値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)	役割分担		
			市	市民	事業者
市民・事業者に対する電気自動車等の購入助成(累計)	0台	24台	●	●	●
おかやま COOL CHOICE!宣言をした市内の企業・団体数(累計) [岡山県が募集]	7団体	15団体	●		●
市域における温室効果ガス(CO ₂)排出量	313,949t-CO ₂ (平成30年度)	今後策定する「地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」で削減量等を設定			
市内の固定価格買取制度による太陽光発電の累積導入容量	62,097kW	77,000kW	●	●	●
地域自主防災組織のカバー率	22%	100%	●	●	●
マイ・タイムライン講習会開催数	2回	12回	●		

基本目標 2【自然共生】 豊かな自然を継承し、 人と自然が共生するまちを創ります



市の取組

基本施策 1 生物多様性の保全

- 希少野生動植物の保護
- 外来生物対策

基本施策 2 豊かな自然環境の保全

- 山林・里山の適正管理
- 農地の適正管理・利活用
- 有害鳥獣被害の防止
- 水辺の適正管理

基本施策 3 自然とのふれあいの推進

- 自然とふれあえる場と機会の充実

市民・事業者の取組

飼育できなくなった外来生物を山林や河川等に放すことは絶対にやめましょう！



適正な間伐・枝打ちと間伐材などの有効利用に努めましょう！



農業後継者の育成や新規就農者の就農に協力しましょう！



有害鳥獣による農作物被害の現状把握に協力しましょう！



河川の一斉清掃に積極的に参加・協力しましょう！



自然とふれあうイベントや教室などに積極的に参加しましょう！



数値目標

指標	基準値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)	役割分担		
			市	市民	事業者
高梁川流域クリーン作戦参加者	194名	250名	●	●	●
有害鳥獣による被害金額	17,470千円	13,419千円	●	●	●
高梁自然公園キャンプ場利用者数	383人	574人	●	●	●

基本目標 3【資源循環】 ごみの少ない資源が循環するまちを創ります



市の取組

基本施策 1 3Rの推進

- ごみの排出抑制（リデュース）の推進
- 再使用（リユース）・再資源化（リサイクル）の推進



基本施策 2 ごみの適正処理の推進

- 適正なごみ処理体制の確保
- ごみの不法投棄の防止
- 環境美化の推進
- 災害廃棄物処理体制の構築

市民・事業者の取組

水切りの徹底や生ごみ処理機等の使用によって、生ごみを減量しましょう！



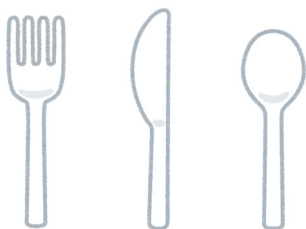
食材の使い切りや食べきりによって、食品ロスをなくしましょう！



買い物の際には、マイバッグを持参してレジ袋の削減に協力しましょう！



使い捨てプラスチック製品の使用を減らしましょう！



ごみは決められた排出ルールに従って分別を徹底しましょう！



ごみの不法投棄やポイ捨ては絶対にやめましょう！



数値目標

指標	基準値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)	役割分担		
			市	市民	事業者
ごみ排出量（家庭系・事業系）の削減	10,611t	9,138t	●	●	●
ごみの適正処理に関する企業等との協定（累計）	1件	3件	●	●	●

基本目標 4【安心・安全・快適】 安心・安全で快適な生活が営める住みよいまちを創ります



市の取組

基本施策 1 安心・安全な生活環境の保全

- 大気汚染の防止
- 騒音・振動・悪臭の防止
- 有害化学物質汚染の防止
- 水質汚濁の防止
- 土壌・地下水汚染の防止

基本施策 2 快適な生活環境の形成

- 地域特性を活かした景観形成
- 公園・緑地の整備・維持管理
- 空き家等の適正管理・利活用
- 歴史・文化財の保護・継承
- 人と環境にやさしい交通体系の構築



市民・事業者の取組

工場・事業場から発生する環境負荷を可能な限り低減するよう努めましょう！



公園や緑地等の樹木や草花を大切にしましょう！



苦情の発生要因となる違法なごみの野外焼却は絶対にやめましょう！



自動車の利用を控え、公共交通機関を利用して移動しましょう！



合併処理浄化槽を適切に維持・管理しましょう！



所有する建物や土地の適切な維持管理に努めましょう！



数値目標

指標	基準値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)	役割分担		
			市	市民	事業者
水質環境基準（BOD）達成率 〔6地点、岡山県実施〕	100% (令和元年度)	100%	●	●	●
汚水処理人口普及率	80.9%	85.0%	●	●	●
空き家情報バンク成約件数	48件	50件	●	●	●
歴史的町並み保存地区整備事業実施件数 (累計)	68件	80件	●		

基本目標 5【市民協働】 みんなが参画・協働し、持続可能なまちを創ります



市の取組

基本施策 1 環境学習・教育の推進

- 地域特性を活かした環境学習・教育の推進
- 学校における環境学習・教育の推進
- 地域における環境学習・教育の推進
- 環境情報の発信



基本施策 2 環境保全活動の推進

- 地域が連携した環境保全活動の推進

市民・事業者の取組

地産地消により、地域の伝統ある食文化を子どもたちに伝えていきましょう！



本市が発信する環境情報を収集し、日常生活や事業活動での環境に配慮した取組の実践に役立てましょう！



家庭において、環境について話し合う機会を設け、一緒に考えましょう！



地域で取り組まれている環境保全活動に関する情報を収集し、関心のある活動に積極的に参加・協力しましょう！



従業員の環境教育を実施し、環境保全に関する意識の向上に努めましょう！



環境保全活動を行っている主体間で情報交換を行い、連携・協働して活動を拡げていきましょう！



数値目標

指標	基準値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)	役割分担		
			市	市民	事業者
エコチルドレン育成教室等の環境学習の回数	6回	12回	●		